

## 屋内信号装置

# シルウォッチ作成者:(株)東京信友

## 取付説明書

1	はじめに	ページ
1-1	概要	2
1-2	工事をはじめる前に	3
2	シルウォッチのしくみ	
2-1	各部の名称と機能《送信機》	4
2-2	各部の名称と機能《受信機》	5
2-3	基本動作	5
2-4	各送信機とその役割	5
3	設置方法	
3-1	基本手順	7
3-2	音量・検出時間の調整方法	7
3-3	各送信器の設置方法	8
3-3-1	玄関用送信機《ゲンカン》	8
3-3-2	FAX用送信機《ファックス》	10
3-3-3	赤ちゃん(音声)用送信機《コール》	11
3-3-4	携帯電話用送信機《ケイタイ》	12
3-3-5	防犯警報用送信機《ケイホウ》	13
4	その他商品の設置について	15
	故障かなと思ったら・お問い合わせ	16

## 1. はじめに

### 1-1 [概要]

本システムは屋内におけるあらゆる情報を、電波を媒体として聴覚障がい者等に伝達する屋内信号装置です。

送信器を情報発信元の動作に連動させ ID を送信します。信号を受信した腕時計型もしくは携帯型光受信器がバイブレーションで振動し、送信内容を文字で液晶部に表示します。

設置につきましても他社製品(ランプやフラッシュ)とは違い、当社製品は特定小電力の無線を使用しておりますので、家中を配線だらけにする事なく非常に簡単な取り付けが可能です。また、インターホンへの設置も平型マイクによって簡単に貼りつけられるので、どなたでも簡単に取付けることが出来るようになりました。

**2種類の調節ダイヤルで簡単に調整出来るため、誤作動がほとんどありません！**

電波法施行規則第6条に規定される特定小電力無線局のうち、電波を利用して遠隔地点における装置の機能を始動、変更又は終始させることを目的とする信号の伝送を行うテレコントロール用無線設備です。

電波法、無線設備規則に基づいた無線装置で、特定無線設備の技術基準適合証明に合格したものであるため、使用に当たっては、免許・資格などが不要です。

## 1-2 [工事をはじめる前に]

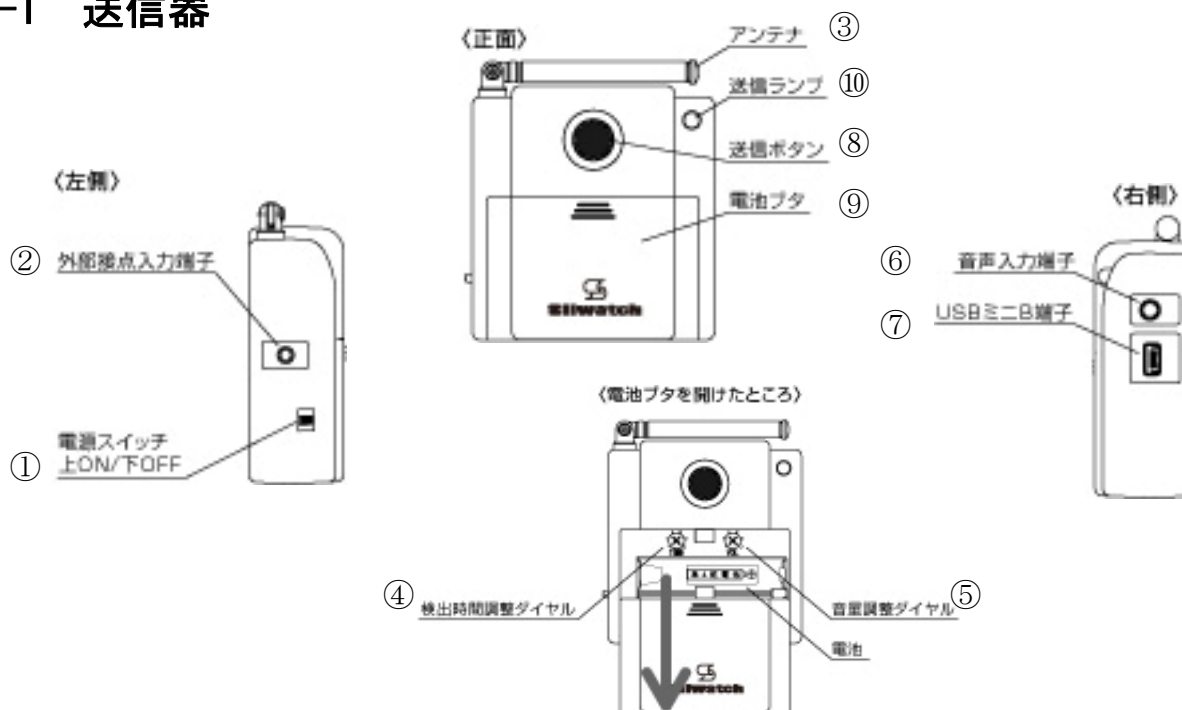
本セットには、製品と付属品以外に送信器のダイヤル設定用ドライバーが同梱されております。送信器を設置する際にお使いください。また、その他にも工具や部品が必要になる場合がございますので、以下の物品をあらかじめ準備しておくといざという時便利です。

但し通常、FAX用・コール用・携帯電話用の送信器を設置する場合、道具は必要ありません。

名称	詳細	使用端末
ドライバー	状況に応じて使い分けができる程度の種類があると便利です。	チャイム(光タイプ)、各警報
ニッパー・カッター ラジオペンチ	配線・モールの切断、配線剥きなどに使用します。	チャイム (光タイプ)
モール ステップル等	配線を養生する場合に使用します。	チャイム 各警報
両面テープ	モールを固定する場合に使用します。	チャイム 各警報
絶縁テープ	配線を切断した際の養生に必要です。	チャイム
延長コード	コンセントが遠い時、お客様宅に使用できるものがない場合があります。	全種類
筆記用具	耳の不自由なユーザーが多いので、その場合は筆談や手話が必要になります。	

## 2. シルウォッチのしくみ

### 2-1 送信器



- ① 電源スイッチ 使用時は電源スイッチを ON にして下さい。
- ② 外部接点入力端子 (2.5φ ステレオスーパーミニプラグジャック) 無電圧 a 接点入力のスイッチ類を接続します。必ず根元まで差し込んでください。
- ③ アンテナ 使用時は伸ばしてください。縮めたままですと本来の性能が出ない場合があります。
- ④ 音声検出時間調節ダイヤル 外部信号の検出時間を調節することにより、誤作動を抑止できます。矢印の先端が左斜め下から最小、右に回すごとに感度が高くなります。
- ⑤ 音声入力感度調整ダイヤル 外部信号の入力レベルを調節することにより、誤動作を抑止できます。矢印の先端が左斜め下から最小、右に回すごとに感度が高くなります。
- ⑥ 音声入力端子 (3.5φ モノラルミニプラグジャック) 平型マイクや光センサー、スイッチを接続します。必ず根元まで差し込んでください。
- ⑦ USB ミニ B 端子 付属の電源コードを接続します。必ず根元まで差し込んでください。
- ⑧ 送信ボタン ボタンを押すと送信します。呼出や動作確認の用途などにお使いください。
- ⑨ 電池ブタ 単 4 電池 2 本でも動作可能です。+-の向きにご注意ください。
- ⑩ 送信ランプ 送信している時に緑のランプが点滅します。

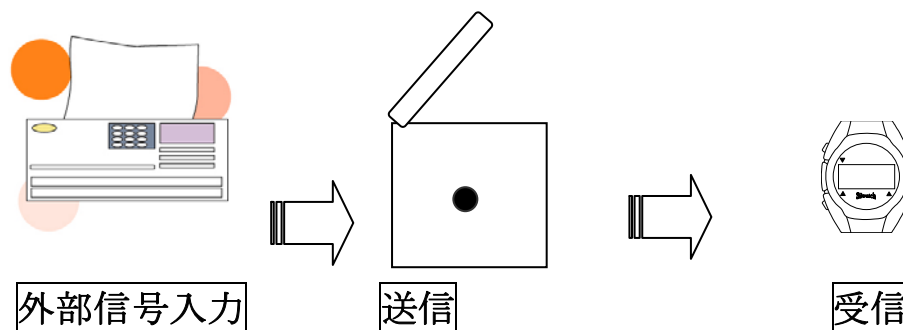
**④・⑤の調節ダイヤルは、感度を出来る限り絞ってお使いください。**

- AC 電源からの電力供給時は AC 優先、供給が止まると自動的に電池電源に切り替えます。

## 2-2 受信器

※受信器については、別紙取扱説明書をご覧ください。

### 2-3 [基本動作]



1. 情報発信元(玄関チャイムやFAX機、携帯電話など)が動作します。
2. 送信器が外部入力からの信号を検出すると送信動作を行い、LEDが10秒間点滅します。(外部入力用IDを送信)  
または、送信器本体の送信スイッチを0.1秒以上押すと送信動作(スイッチ用ID(コール)を送信)
3. 受信機が信号を受信すると“5回振動”して“LCDに情報内容を文字で表示”します。
4. 10秒後、通常の状態にもどります。ただし、警報用送信器の外部入力信号と目覚まし機能動作時は、受信器のTIMEボタンを2秒以上押し続け、振動を止めるまで15秒間隔で同動作を繰り返します。

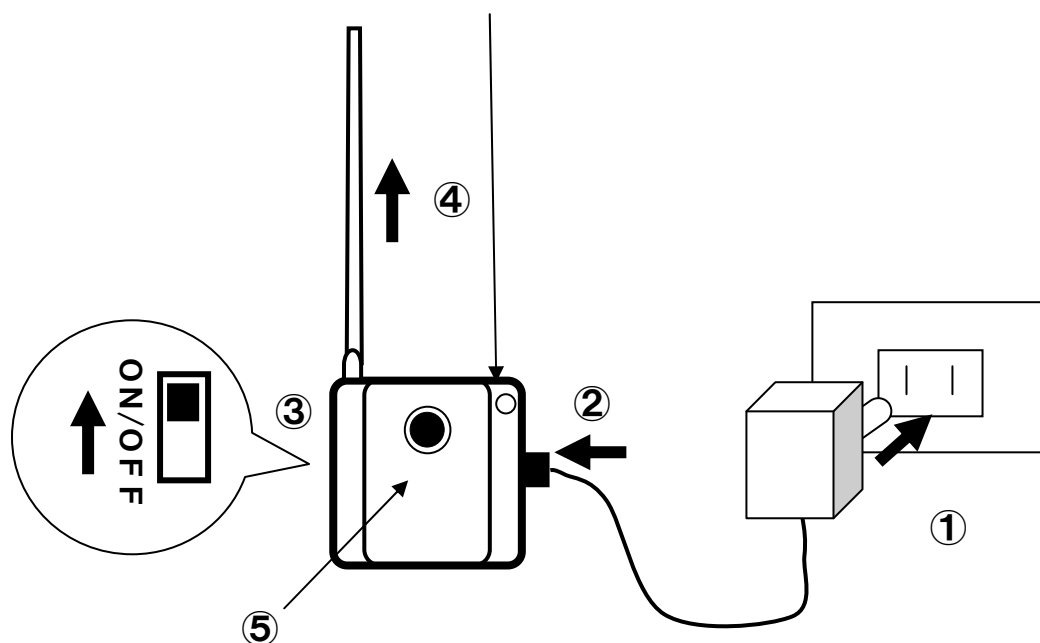
### 2-4 [各送信器とその役割]

送信器の種類	内容説明	表示
玄関	既存のチャイムに接続し、来客を知らせます。	ゲンカン
ファックス	NTT回線にセンサーを接続し、FAXの着信をお知らせします。	ファックス
携帯電話	携帯電話の振動を感知します。	ケイタイ
警報	磁石式スイッチやシルタンちゃんの信号を感知します。	ケイホウ
あかちゃん	赤ちゃんの泣声を付属のマイクで感知し、お知らせします。	コール
全送信器	本体正面の送信スイッチを押すことにより、受信器を持っている人を呼び出すことができます。	コール

### 3. 送信器の設置

#### 3-1 [手順《全送信器共通》]

- ① 電源アダプタをコンセントに差し込む。
- ② 電源アダプタのプラグを送信器の USB ミニ B 端子に差し込む
- ③ 送信器の電源スイッチを ON (上側) にする。
- ④ アンテナを最大に伸ばす。
- ⑤ 送信器のボタンを押せば、送信ランプが点滅して電波が送信されます。



#### ---設置の注意点---

- ☆ 送信器本体ならびにマイク、光センサー、付属コード等は電源コードやコンセントの近くには設置しないで下さい。また、付属のコードは束ねないで下さい。誤作動の原因になる可能性があります。

#### 送信ボタン《全送信器共通》

全ての送信器についている押しボタンは呼出用です。

呼出ボタンを使用する時は、調節ダイヤルは関係ありません。

動作確認をしたい時に、このボタンを押して LED が点滅し、送信することを確認します。

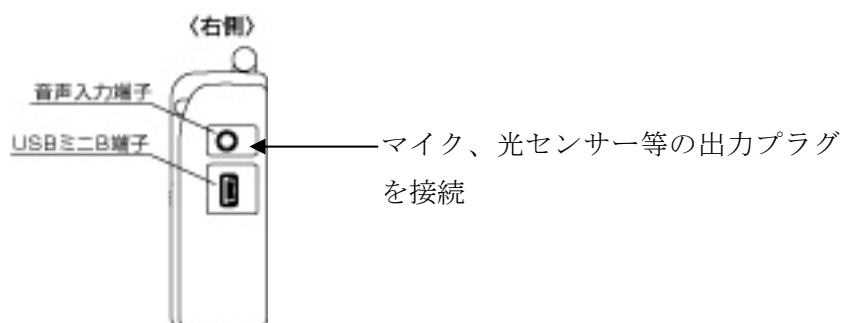
### 3-2 [音量検出時間の調整方法]

1. 送信器を設置手順に従い、設置します。コールボタンを押して受信器に表示が出るのを確認してください。
2. 両方のダイヤルを左に回し、止まる箇所が最低の感度になります。右に回していくと高くなります。実際に外付けのスイッチを作動させて、テストしてください。テストとテストの間は10秒以上開けてください。
3. 音声検出時間調節ダイヤルのテストを繰り返し、できるだけ低い感度にします。
4. 次に音量調節ダイヤルも同じようにします。



### 3-3 [送信器の設置方法]

1. 上記 3-1 のとおり、送信器を電源と接続してください。
2. 音声入力端子 (3.5φ) もしくは外部接点入力端子に各種センサー、スイッチの出力プラグを接続してください。



※電源がONの状態に接続した時、もしくはスイッチを接続した後に電源をONにした時は電波を送信します。送信ランプが点滅することをご確認ください。

### 3-3 [各送信器の設置方法]

#### 3-3-1 [玄関用送信器《ゲンカン》]

送信器は基本的に屋内側のチャイムなどに接続します。

音の出る通常のインターホンはもちろん、回転灯やフラッシュタイプのチャイムにも連動できます。チャイムが無い場合は、接点式のスイッチだけでも動作可能です。

#### 入っているもの

玄関用送信器本体・ACアダプター・平型マイク又は光センサー・両面テープ

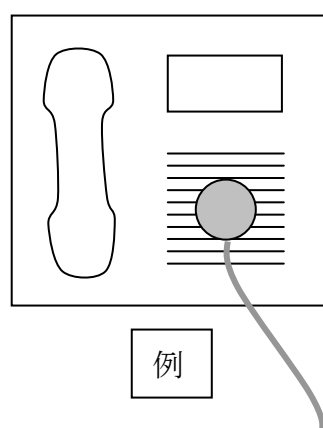
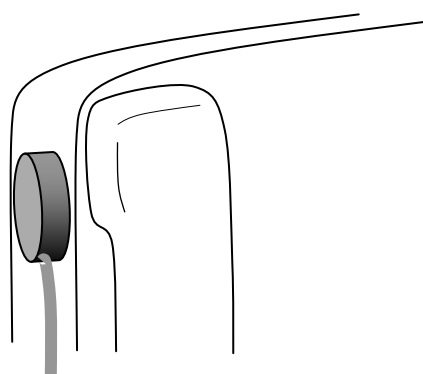
#### 音声タイプの設置方法

#### 【接続：音声入力端子】

**手順1** 平型マイクを音の出る機器（インターホン、チャイム）に向け、出来る限り音の出る場所に貼り付けてください。

送信器は送信器用両面テープで壁・柱などに固定してください。

固定しなかったり、テーブルや電話台など振動しやすい家具に固定すると誤作動を起こします。また、ドアや襖の開閉の衝撃や振動の影響の受けない場所に設置してください。



出来る限り音の出ているところに貼り付けてください。

平型マイクのコードは束ねないで下さい。

誤作動の原因になります。



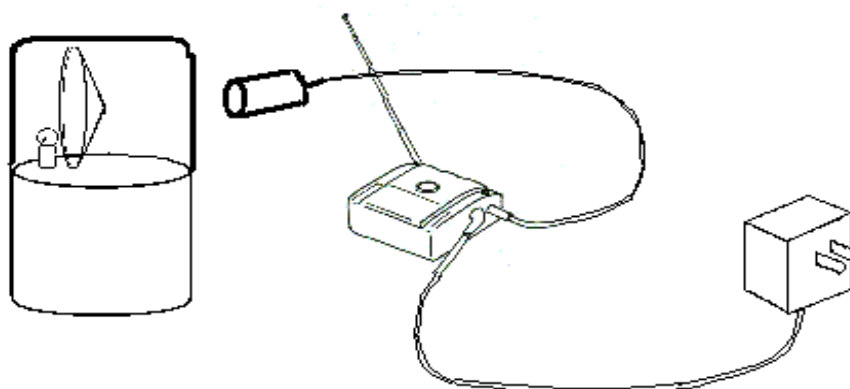
## マイク以外の設置方法

### 回点灯・フラッシュなど光の出る場合の場合

### 【接続：音声入力端子】

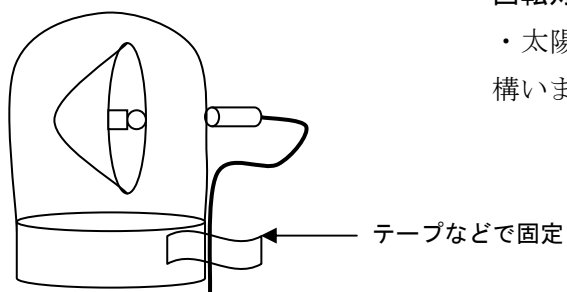
**手順1** 光センサーを太陽光等他の光源の向きに注意して取り付けます。

**手順2** 外部入力用のプラグを送信器に差し込み、入力感度の調整を行います。



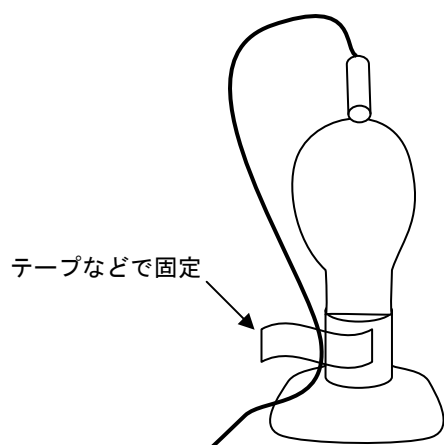
#### 回転灯など

- ・太陽光などに背を向ければ横付けでも構いません。



#### 白熱球の場合

- ・太陽光または蛍光灯に背を向けるように設置してください。
- ・光センサーは筒の奥にありますので、よほど強い光が近くで光らない限り誤作動はありません。
- ※電球切れの場合は作動しません。電球の交換後に光センサーを元の位置に戻すようお客様に説明してください。



### 3-3-2 [FAX用送信器《ファックス》]

本送信器は一般の電話回線を使用している電話機・ファクシミリに接続します。受信感知は、音声ではなく回線から呼出信号を検出しておりますので、音声による誤作動の心配はございません。

ベルフラッシャーはアナログ電話信号用に設計された製品ですので、ISDN・ADSL・TFFH にもご利用いただける場合もございますが、ターミナルアダプターのアナログポートに接続していただいた際に、その電圧値が NTT のアナログ電話信号と同等の 48V が必要になります。万が一ベルフラッシャーが正常に動作しない場合は平型マイクロフォンで着信音を感知させて動作させることが可能ですのでご相談下さい。

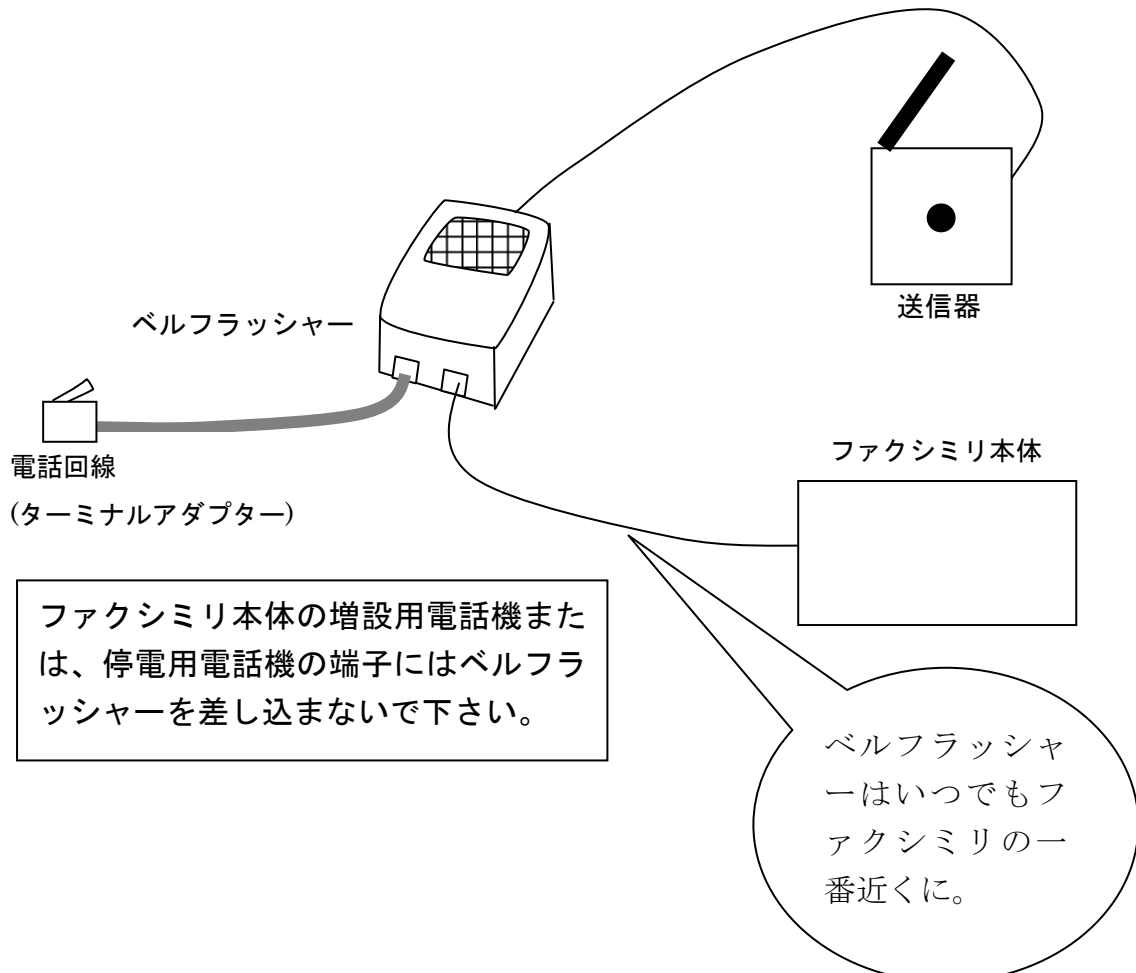
#### 入っているもの

FAX用送信器本体・ACアダプター・モジュラーコード・ベルフラッシャー

#### 設置方法

#### 【接続：音声入力端子】

下図のようにベルフラッシャーとファックス用光りセンサーを組み立てた上、接続して調節ツマミをあわせてください。機種によって多少ずれがありますので、設置後必ず動作テストを行って下さい。



### 3-3-3 [赤ちゃん用音声送信器 《コール》]

専用マイクで赤ちゃんの泣き声を感知します。

#### 入っているもの

コール用送信器本体・ACアダプター・ピンマイク・両面テープ

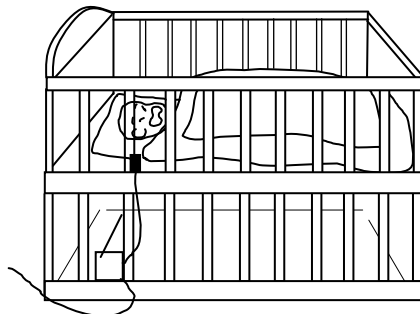
#### 設置方法

【接続：音声入力端子】

- 手順1 ピンマイクを赤ちゃんの近くに設置します。<sup>1</sup>
- 手順2 《送信器設置時の基本手順》に従い、正しく設置してください。
- 手順3 調節ダイヤルを設定して下さい。<sup>2</sup>

#### 赤ちゃん(泣声)用の音量調節ツマミと時間調節ツマミの合わせ方

赤ちゃんが泣く時は、かなり長い時間大きな声を出し続けますので、時間調節ツマミはある程度低めに設定できますが、危険防止の為ある程度マイクを赤ちゃんから離してください。その為、音量の感度は誤作動のない程度に設定してください。



※危険防止の為、マイクやコードは赤ちゃんに近づけ過ぎないようにご注意ください。マイクを多少離れた場所に設置する為、入力感度を良くしますので誤作動が起きる可能性があります。ご使用中は出来る限り周囲の雑音を排除するように心がけて下さい。また、使用していない時は送信器の電源スイッチを“OFF”にして下さい。

### 3-3-4 [携帯電話用送信器《ケイタイ》]

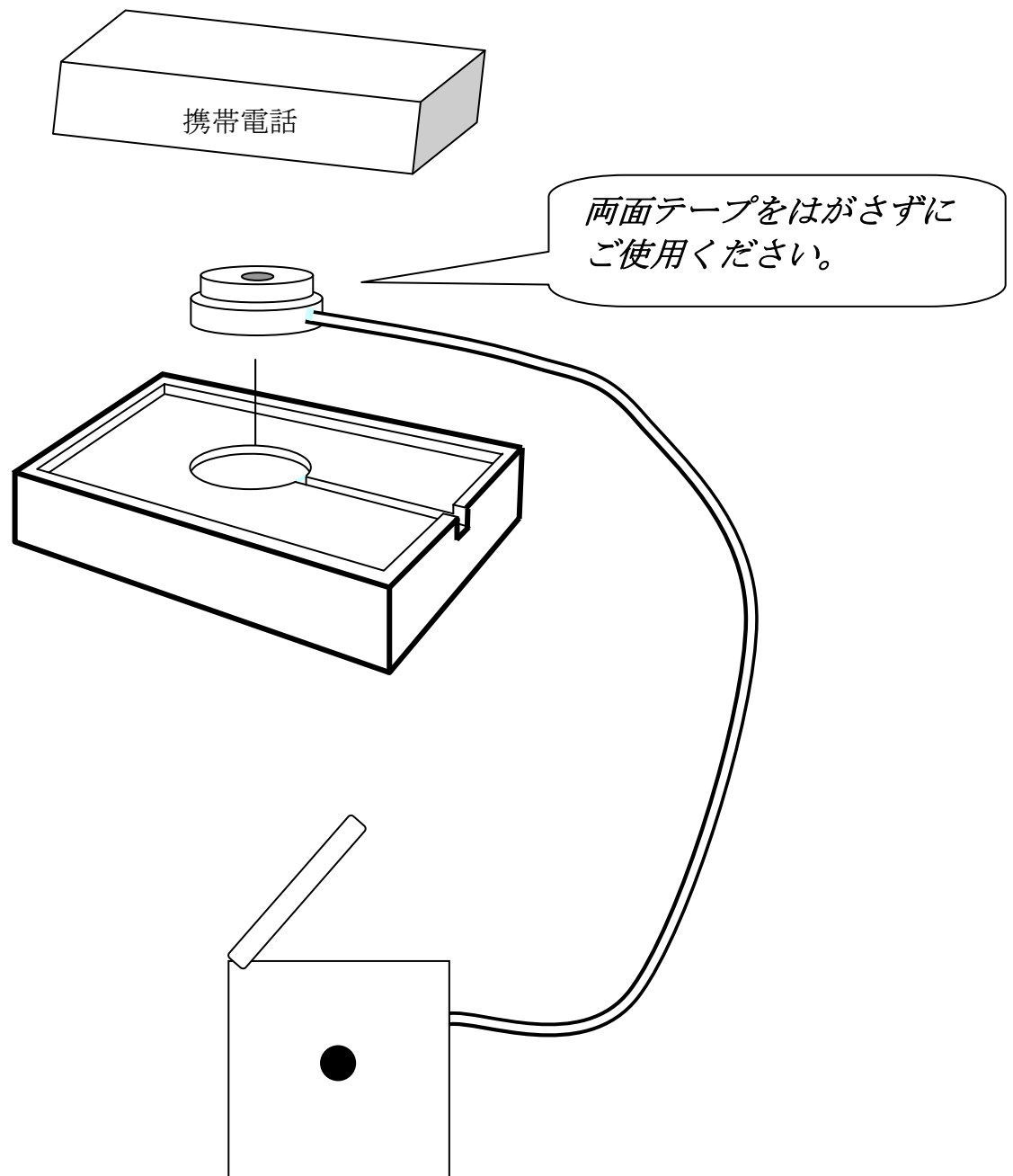
#### 入っているもの

携帯電話用送信器・ACアダプター・平型マイク・専用マット（別売）

#### 設置方法

#### 【接続：音声入力端子】

置き台に平型マイクを図のような向きでしっかりはめ込んでマットにセットします。  
数値をあわせ、携帯電話を必ず振動するモードに設定し上に乗せます。  
メールなどの着信があると携帯電話の振動を感知して受信器にお知らせします。  
機種によって振動の強さが違いますので、必ずダイヤル調整をして動作確認をしてください。



### 3-3-5 [防犯警報用送信機《ケイホウ》]

ドアや窓の開閉を感知し、異変を知らせます。

**重要** 本送信器からの信号を受信すると、TIME ボタンを2~3秒押し続けリセットするまで“振動”と“表示”が繰り返されます。

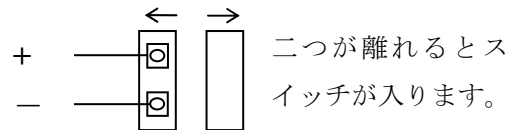
#### 入っているもの

警報用送信器本体・ACアダプター・配線コード・磁石スイッチ・両面テープ

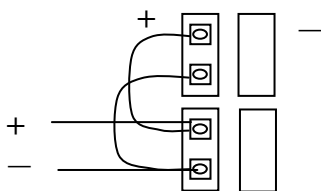
#### 設置方法

#### 【接続：外部接点入力端子】

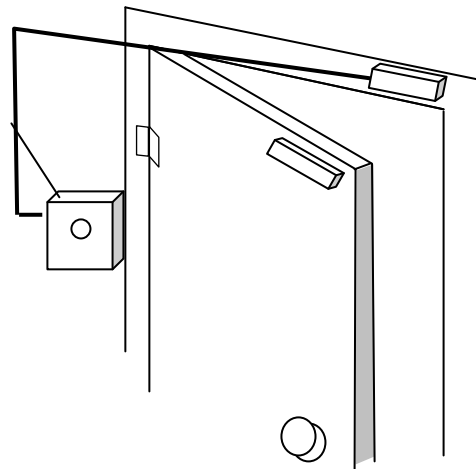
- 手順1 磁石スイッチを設置する場所を決めます。
- 手順2 磁石スイッチに専用配線コードを接続します。
- 手順3 磁石スイッチの取付説明書に従い、正しく設置してください。
- 手順4 《送信器設置時の基本手順》に従い、正しく設置してください。
- 手順5 調節ツマミを設定して下さい。<sup>3</sup>



ひとつの送信器に複数の磁石スイッチを連動することも可能です。その場合は下図のように接続してください。※配線が長くなりすぎると入力信号を感知できない場合があります。その場合は送信器を増やすか、配線を入力信号が感知できる長さまで短縮してください。



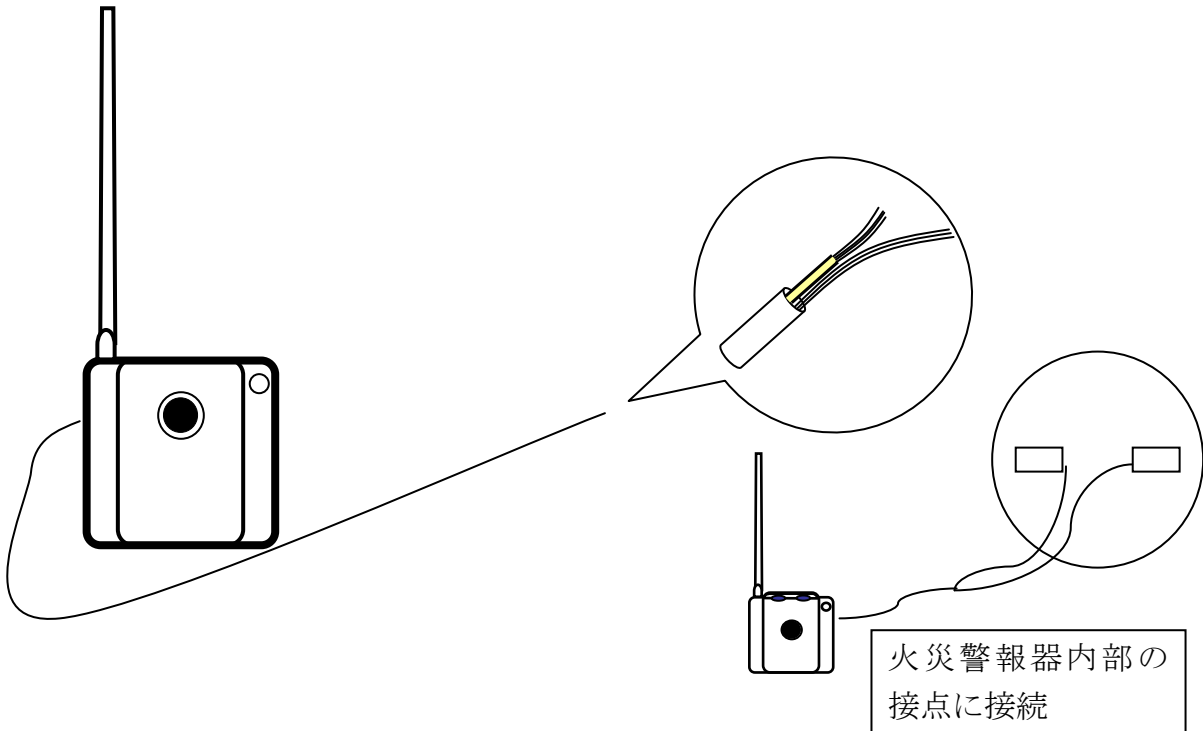
複数のスイッチのうちいずれか1つが離れると作動します。



# [送信器接点入力について]

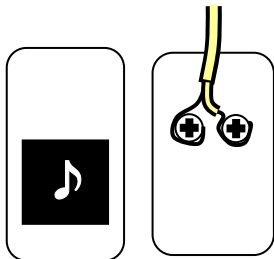
## 【接続：外部接点入力端子】

送信器は専用コードにより、各種機器からの a 接点入力が可能です。

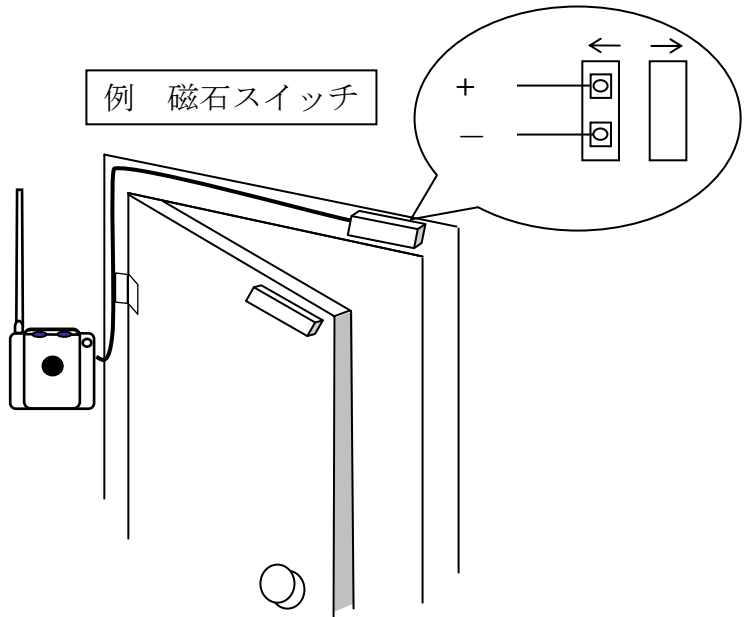


市販のスイッチ類の接点に接続

例 チャイム



例 磁石スイッチ



## 4 その他の製品について

### 火災警報器シルタンちゃん

電池を接続し、設置するだけで作動時にシルオッチ受信器に信号を送ります。  
受信した受信器はケイホウと表示し、TIME を長押しして止めるまで振動と表示を繰り返します。

設置方法・場所は箱内部の取り付け説明書をよくお読みください。  
まず第一に寝室にお取付けください。

### 自動消火器 ボンペット

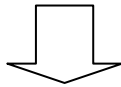
台所のガス台の上部、電子レンジ・オーブンなど火の元の集中している場所の天井近くには取り  
付けます。  
投てき消火もできます。

## 故障かなと思ったら

マイク、光センサー、接点入力スイッチからの送信が受信器にこない場合

**まず受信器の電池を充電してください。それでも受信しなければ以下をご確認ください。**

1. 送信器のコール用ボタンを押して、送信器のLEDが点滅しますか？
2. 音声入力端子に接続したスイッチを押して、送信器のLEDが点滅しますか？
3. 電源コンセントがしっかり差し込まれていますか？
4. 電源スイッチがONになっていますか？
5. 外部入力端子、端末の接続部がしっかりと接続されていますか？



正常に動作しましたら、各調節ダイヤルを再調整してください。  
それでも動作しない場合は、下記までご連絡ください。

**初めて送信器に電源を通して使用したとき、正常に動作(送信)しない場合**

電源スイッチをOFFにして、10秒後に再度ONにして試してください。  
ON/OFFを数度10秒ごとに繰り返して試してください。  
それでも動作しない場合は、下記までご連絡ください。

## 株式会社 東京信友

〒160-0022

東京都新宿区新宿 1-14-5 新宿KMビル 6階

TEL 03-3358-8000

FAX 03-3358-6330

E-mail [info@shinyu.co.jp](mailto:info@shinyu.co.jp)

### 営業時間のご案内

平日（月～金） 9：00～17：00

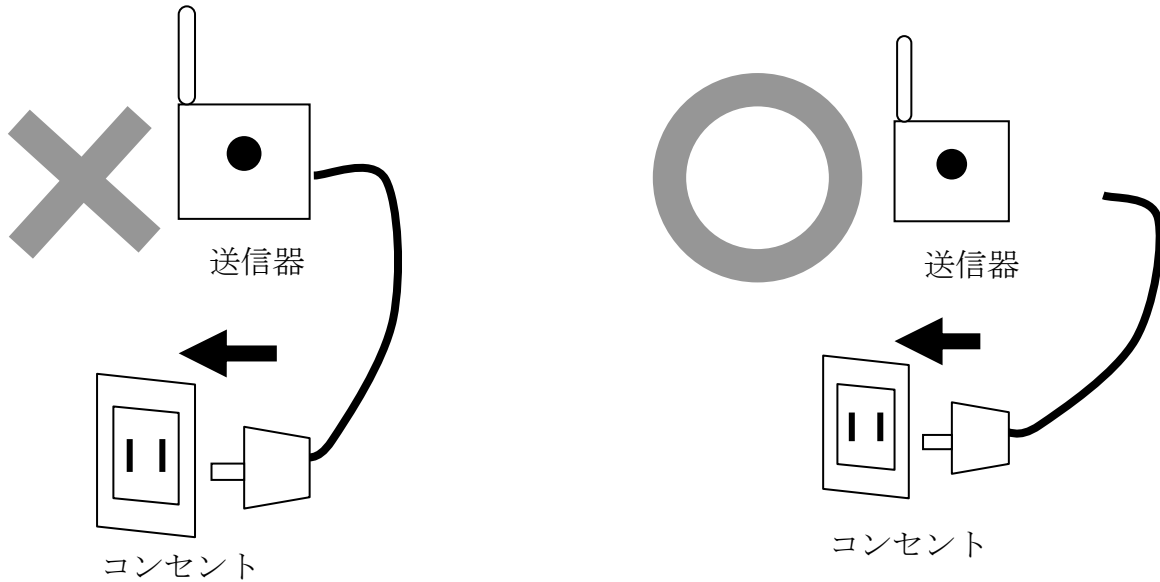
定休日 土・日・祝日



## ご注意

○ACアダプターの特性上、送信器につなげたままコンセントを入れると壊れる可能性があります。

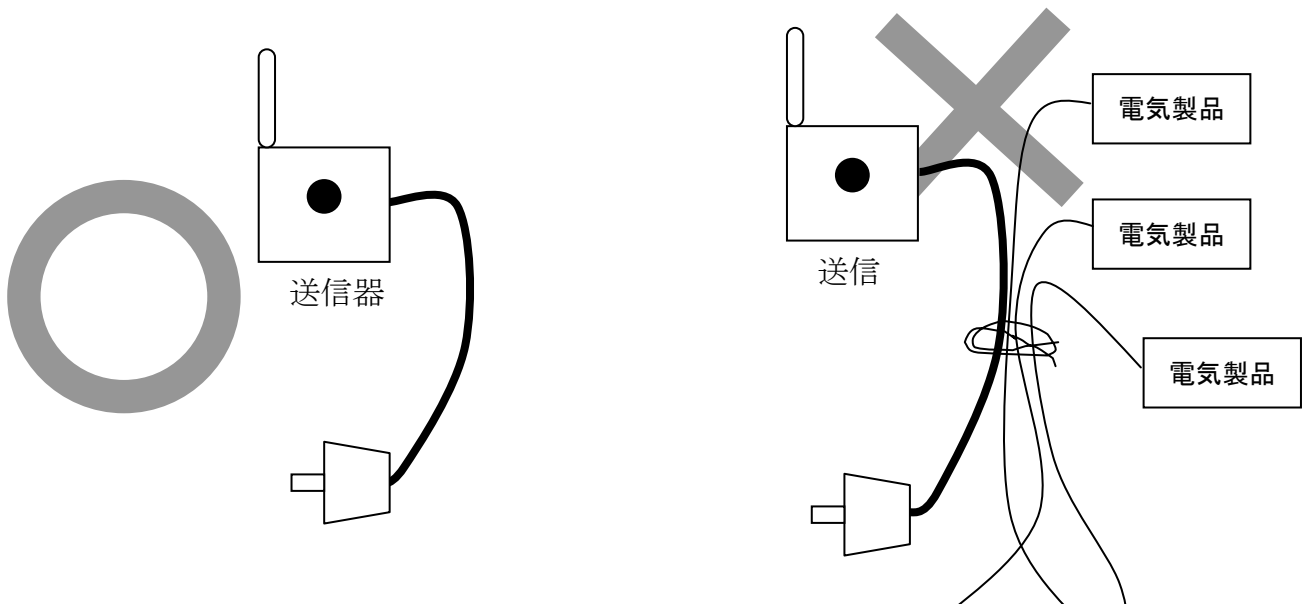
コンセントを入れるときは、送信器から線をはずしてから入れてください。



○送信器、マイク、その他付属品はコンセントのすぐ近くに設置しないで下さい。

○送信器の電源コードは他の電気製品と別のコンセントをお使いください。

他の電気製品のコードと束ねたりしないで下さい。誤作動の原因となることがあります。



初めて送信器に電源を通して使用したとき、正常に動作(送信)しない場合は電源スイッチをOFFにして、10秒後に再度ONにして試してください。ON/OFFを数度繰り返して試してください。ただし、ガチャガチャと頻りにスイッチを動かさないようにしてください。